

それと同じように頭に触る

髪も湿っているし

指の先にも水滴がある

体のどこにも乾燥がないことを今なら信じられるかもしれない

じゃあ目が痛むのは？

と気になって

目を閉じて上下の瞼の境に爪で触れる

それでも見えてしまったものがちらついて

部屋の中の縮尺は相変わらずおかしくて

ほんとうは部屋から出ようとすれば出られたのかもしれないけれど

外が明るいのか暗いのかもわからなくなっていたのだった

思い切って立ち上がろうと思いつながら

すでにしゃがみこんだ後なのだった